

	ご意見	回答案
1	<p>【評価の基準をどう作るか】</p> <p>①通いの場等における評価の仕方。効果をどのように評価するか。</p> <p>②対象者に介護保険の認定率の差があったかどうかのデータ集計してほしい。認定率で効果を検証するのは5年、10年単位でのデータ検証になる。そこを見据えてどのようにデータを集積し分析するのか。そのためにどういうデータをそろえなくてはいけないかということを検証する場を持った方が良い。</p>	<p>①本事業の評価として、市が、被評価者へ<u>通いの場等につながり利用継続しているかどうか等のアンケート調査票（様式第7号参照）を送付して把握することで事業評価をしています。</u></p> <p><u>準備ができ次第、地域包括支援センターが被評価者へ『静岡市介護予防手帳（以下、まるけあ手帳という。）【資料5】』を配布し活用を促す仕組みとします。被評価者は、まるけあ手帳に通いの場等の利用状況を記入するとともに、かかりつけ医へ受診の際に提示します。まるけあ手帳の提示により、かかりつけ医は、被評価者の活動状況を把握し日頃の診療に活かせるようにしていきます。</u></p> <p>②認定率の差について、被評価者が、アンケート調査後どう変化したのかまでを把握するスキームになっていません。また、市は、当該事業を利用していない人の情報（既に通いの場等利用中であったり、全く利用していない等）を持っていないため、比較対象群を選定できません。<u>今後、本事業の効果を検証するために、データを蓄積しつつ、比較できるように介護予防事業を展開している関係各課を調査していく予定です。</u></p>
2	<p>【かかりつけ医へ情報を伝える方法について】</p> <p>通いの場に通っていたが辞めた情報や通っている効果の情報が、我々の方に入った方がよいと思う。そういう意味では、通いの場等からの情報を、かかりつけ医に出す、もしくは患者さんを通して伝える、そんな仕組みも加えるとよいと思った。</p>	<p>現在、通いの場等での実施内容の詳細を市やかかりつけ医が把握する仕組みはありません。例えば、S型デイサービスは、閉じこもり予防や健康保持のために、地域のボランティアによる交流会、レクリエーションや簡単な体操などを実施していますが、会場によって内容は様々なため、実際どんなことをやっているのかやその高齢者が参加した回数等は、高齢者本人と会場のスタッフのみがわかる情報です。</p> <p><u>上記1の回答案①に同じ。</u></p>
3	<p>【対象年齢の拡大について】</p> <p>対象年齢を区切りすぎた。対象年齢の拡大を検討していく必要があると思う。</p>	<p><u>令和7年度より、75歳以上上限なく対象とすることとします。</u></p>
4	<p>【多くの高齢者を対象とするために】</p> <p>より多くのかかりつけ医が参加してくれればよいと思う。参加医療機関の拡大が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>令和6年度参加医師35人</u>（令和6年6月20日現在）。【参考資料8】 ・多くの医師に参加していただけるよう、年度当初の4月に説明会を開催しました。 ・説明会の開催に際して、両医師会の協力で全医師会員へ開催通知を2度送付していただきました。 ・昨年度、手上げていただいた医師へは、事務局からもメールにて説明会参加を促しました。 ・説明会に不参加だった医師のために、医師会のユーチューブに説明内容をアップしました。 ・市役所ホームページに本事業を掲載し、参加医療機関名等を掲載するとともに、高齢者へ介護予防・フレイル予防のためにかかりつけ医に相談するよう掲載しました。【参考資料9】
5	<p>【地域包括支援センターへ確実につなぐ方法】</p> <p>地域包括支援センターに繋がらず、電話で対応したケースや電話もつながらないケースがあった。案内のために、地域包括支援センターの地図等を高齢者へ渡す必要があるのではないか。</p>	<p><u>参加医師へ、全地域包括支援センターのチラシを配布し、必要に応じて高齢者へ配布することとしました。【参考資料6】</u></p>
6	<p>【地域包括支援センターにつながらなかったケースについて】</p> <p>地域包括支援センターにつながらなかったケースは、なぜつながらなかったのかわかると良い。</p>	<p>地域包括支援センターへつながらなかったケースが10件（電話番号不明3件、不在7件）ありました。</p> <p>被評価者へ理由を確認したところ、<u>「包括へ行くことを忘れていた。」と回答した方が最も多かったため、令和6年度手順書に、かかりつけ医が被評価者に地域包括支援センターへ誘導することについて赤字で注意書きを加えるとともに、医師説明会でも注意を促しました。【資料4-②】</u></p>